

各自衛隊の体制 — 航空自衛隊②

戦闘機部隊

H25年度末
 戦闘機部隊：12個飛行隊
 戦闘機数：約260機

25年大綱
 戦闘機部隊：13個飛行隊
 戦闘機数：約280機

- 航空偵察部隊1個飛行隊を廃止し、13個目の飛行隊を新編
- 那覇基地の戦闘機部隊を2個飛行隊に増勢



※F-35Aについては、最初に三沢に配備する予定

新空中給油・輸送機の整備



空中給油・輸送部隊

H25年度末
 空中給油・輸送部隊：1個飛行隊

25年大綱
 空中給油・輸送部隊：2個飛行隊

- 空中給油・輸送部隊に1個飛行隊を新編

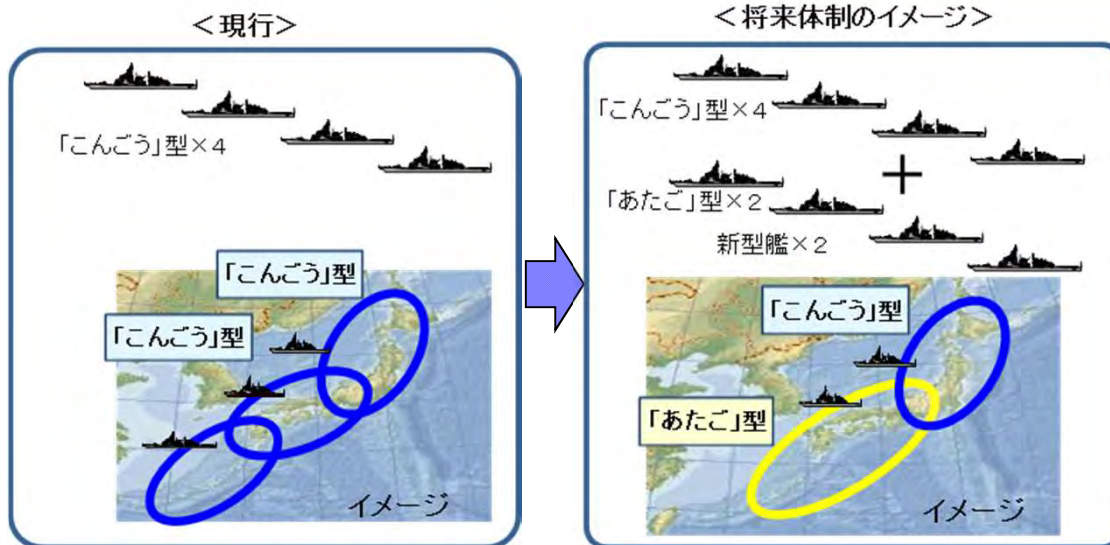
※引き続き、戦闘機部隊の体制移行を検討

BMDの体制

主要な事業

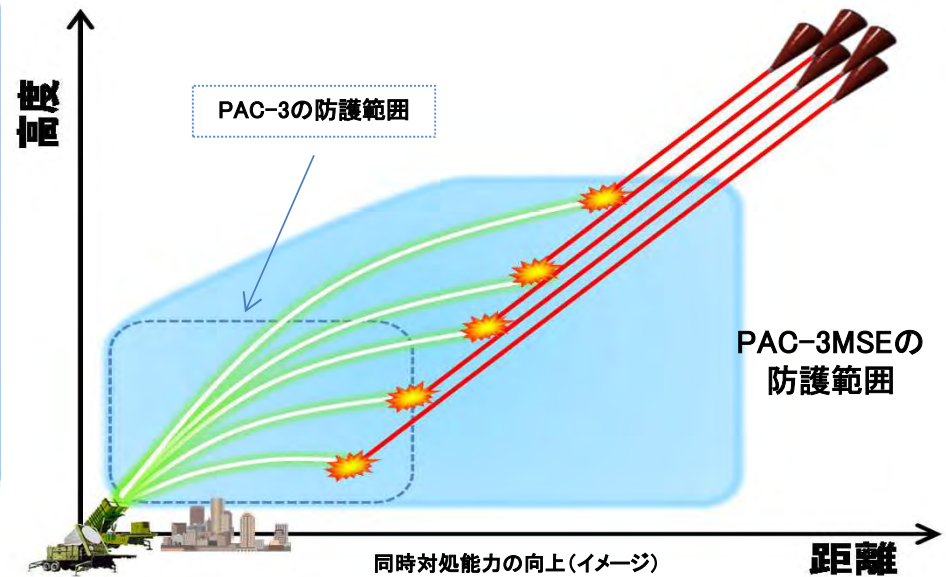
- 弾道ミサイル防衛能力を有する**イージス艦**を8隻に増勢
- 能力向上型のPAC-3ミサイル**PAC-3 MSE**を導入

イージス・システム搭載護衛艦



地对空誘導弾部隊

- 能力向上型PAC-3ミサイル(PAC-3 MSE)の導入



- 防護範囲の拡大
- 同時対処能力の向上
- イージス艦及びPAC-3高射隊の増加に伴う継戦能力の向上

V 防衛力の能力発揮のための基盤

防衛力の能力発揮のための基盤(1)

→ 単に主要な編成や装備等を整備するだけではなく、防衛力を下支えする様々の基盤も併せて強化することが必要不可欠

1 訓練・演習

- 戦術技量の向上のため、訓練・演習を充実・強化
- その際、北海道の良好な訓練環境を一層活用する
- **関係機関や民間部門とも連携**し、より実践的な訓練・演習を実施
- 南西地域において、地元との関係に留意しつつ、**米軍施設・区域の自衛隊による共同使用**を進めること等により、良好な訓練環境を確保



然別演習場(北海道)における実働訓練



国民保護訓練(長崎県)において対策協議を行う
防衛省・自衛隊など関係省庁・県、警察の職員

2 運用基盤

- 駐屯地・基地等の復旧能力を含む**抗たん性の向上**
- 各自衛隊施設及び宿舎の整備を進め、即応性を確保
- **民間空港・港湾についても事態に応じて早期に自衛隊等の運用基盤として使用**し得るよう、平素からの体制の在り方も含め、検討
- **各種家族支援施策**を実施
- **装備品の運用基盤の充実・強化**(必要な弾薬の確保・備蓄、装備品の維持整備)



滑走路等の復旧(訓練の様子)

防衛力の能力発揮のための基盤(2)

→ 装備品の高度化・複雑化、任務の多様化等に対応するため、人材を有効に活用する観点から人事制度改革に関する施策を行う

3 人事教育

- 各自衛隊の**任務・特性**を踏まえつつ、**適正な階級構成及び年齢構成**を確保するための施策の実施
- **人材の有効活用のための施策**(女性自衛官の更なる活用、再任用の活用等)及び**栄典・礼遇**に関する施策を推進
- **統合運用体制を強化**するため、教育・訓練の充実、**統幕・関係府省等での勤務**等を通じ、各種事態等に柔軟に即応できる人材を確保
- **多様な募集施策**を推進
- 地方公共団体や関係機関との連携強化等により**再就職支援**を推進
- 専門的技能を要するものを含む**幅広い分野で予備自衛官の活用、予備自衛官等の充足向上等**のための施策を実施



練習艦「せとゆき」艦長(左)
同「しまゆき」艦長(右)

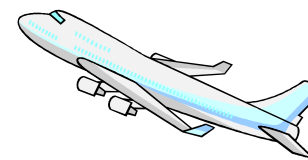


民間企業に再就職し、活躍する退職自衛官

予備自衛官の活用の在り方(例:民間部門に操縦士として再就職したパイロットを予備自衛官として任用)



自衛隊パイロット



民間航空パイロット
(予備自衛官)



栄典の在り方の検討

防衛力の能力発揮のための基盤(3)

4 衛生

- 自衛隊病院の拠点化・高機能化等、防衛医科大学校病院等の運営改善
⇒ 効率的かつ質の高い医療体制を確立
- 医官・看護師・救急救命士等の確保・育成を一層重視
- 第一線の救護能力の向上、迅速な後送態勢の整備



5 防衛生産・技術基盤

- 我が国の防衛生産・技術基盤の維持・強化を早急に図るため、我が国の防衛生産・技術基盤全体の将来ビジョンを示す戦略を策定
- 装備品の民間転用等を推進

【武器輸出三原則等】

- 防衛装備品の活用等による平和貢献・国際協力に一層積極的に関与するとともに、防衛装備品等の共同開発・生産等に参画することが求められている
- ↓
- こうした状況を踏まえ、武器輸出三原則等がこれまで果たしてきた役割にも十分配慮した上で、移転を禁止する場合の明確化、移転を認め得る場合の限定及び厳格審査、目的外使用及び第三国移転に係る適正管理の確保等に留意しつつ、武器等の海外移転に関し、新たな安全保障環境に適合する明確な原則を定める

装備品の民間転用の推進



救難飛行艇 US-2



輸送機 C-2

装備品の共同開発の例



【F-35の共同開発国】

米国、豪州、英国、イタリア、オランダ、カナダ、トルコ、ノルウェー、デンマーク